

会 議 録(要 約)

日 時	令和2年1月29日(水) 午前9時30分から	
会 議 名	南関版コンパクトシティ構想策定委員会(第4回)	
出 席 者 職・氏名	委員・南関町	別紙委員名簿のとおり
場 所	南関町役場 第1会議室	
<p>(内 容) 次第 1.開会 2.委員長挨拶 3.議事 4. 閉会</p> <p>議事(1)お住まいの校区について</p> <p style="padding-left: 20px;">「第4校区」</p> <p>(委員) 自然環境が良く、最低限の日用品等を購入するコンビニ等はある。声掛けなど地道に出来ることから地域本来の繋がりを見直してはどうか。コンビニや郵便局に情報共有出来る場や機会の提供があれば良い。</p> <p>(委員) どの校区ということでもないが、地域の基礎的な集団、老人会や婦人会などが最近中々目立っていない。また、非常時の移動手段が整っていない。森林行政が今後自然環境維持には必要ではないか。地域の一体感について13%はかなり少ない。こういったものを上げる手段を講じるべきではないか。</p> <p style="padding-left: 20px;">「第3校区」</p> <p>(委員) 工業団地がある割には、校区の人口が多くない。相当数の方が他の地区から来られているということだろう。また、校区内は小道が大変多く、家の前までこれる送迎バス等の希望が多かった。40代から50代の満足度が減るということは、子どもの高校以降の通学に不安があるのではないか。校区の中心としては、今は交流センターや中学校が存在する小原地区が中心となっているので、充実させるとしたらその地区ではないか。</p> <p>(委員) 若い人の定住がないのは買い物の場がないからではないか。また、人との繋がりも心の繋がりでなくお金という対価を支払っての繋がりになりつつある。小学校の子ども達は挨拶を良くしてくれるが、中学校になるとしない子がいる。4つの小学校区を維持すると現町長、教育長は言うておられるが、各校区に小学校が無くなった場合、その地区で登下校を見守る老人会の活動など、多方面に影響があると思う。ただし、これから先もっと入学する子どもが少なくなった場合、子育て世代の方が統合についてどう思われるか。また、交通では町外への乗り合いタクシーの乗り入れ、街灯の設置が必要。人口を増やすためには近隣市町での奪い合いでなく、都心部からのUIターン施策が必要。その他、鳥獣害の住居とさせないためにも、利用できない空き家の解体による新たな住宅地の整備、また、山竹林の手入れが必要と思う。</p> <p style="padding-left: 20px;">「第2校区」</p> <p>(委員) 農地も多いが、休耕地も多く、農家の高齢化も進んでいる。西鉄バスの廃止による影響も大きい。町の電気店にしても、価格競争をしては大手に敵わないが、アフターサービスやその他のお使いなど付加価値があればそこを利用するのではないか。また、誘致企業が増えれば雇用が伴うかというところでもない。地元の人が育つような小さなネットベンチャー</p>		

企業などを持ってこれないかを考えてよいのではないか。

「第1校区」

(委員)子育て世代の求める公園や、お酒の飲める食堂や居酒屋が少ない。商店街に残っているお店も、先ほど話のあった、アフターサービスの出来るお店のみが残っている。しかしふらっと立ち寄りのお店はない。祭りやイベントは多いと感じるが、マルシェは開催されていない。地域の人が交流する場がなく、区の行事開催が難しい。

(委員)町中心部に高齢者向け住宅や、商店街の歩行者天国及びwi-fi整備などによって空間づくりを行ったらどうか。また、小学校区を中心とした住民自主組織の立上げ地域課題を解決し、その一方でやりがい・生きがいつづりの機会を増やすなど、その他まちづくりのシステム変更に対応するシステム作りをやっていききたい。

(委員)自然と調和した生活が車を利用して町では出来ていると感じる一方で、歩道と分離できていないことで歩行者の安全確保はまだ不十分と思う。地区の満足度は高い一方で、地域への行事参加率は一番低い。また、町に魅力がないから周囲の市町に遊びにという今の現状、教育への不安がある。それがアンケート結果に出ているのではないか。近郊に都市があることを優位点として、その都市の機能はシェアすればいい。MaaSなどによりそこへ行く手段と機能が確立できればよい。住み心地でいうと、昔からの組織の維持も大事だが、これから住む方が快適に住めるコミュニティに変えていくことも必要ではないか。

「情報の見直し」

・第3校区、第4校区は工場が多いが町外から通ってくる人が多い。定住させることを考えていければよいのではないか。

・第4校区はPTAだけでなく、歴代卒業生もコミュニティの中に組み込むことが出来ている。歴代校長先生がプラタナスという機関紙を作成されて、学校の実情や行事を地域の人に配布されている。そういったことがコミュニティ作りに繋がっていると思う。

・町のいろんなところで、情報共有のきっかけづくりをしていくことが出来るとよい。

・それぞれの地域にあった繋がりを見つけていくべきではないか。また、30-50代で役を担っている方はいくつも役が重なり大変な方もいる。循環する仕組み、支えあう仕組み、行政に頼りすぎない関係性で地域をつくっていくことが必要ではないか。

・ホテルセキアと地域の商店、観光地との繋がりをもっと強化出来ればよい。インバウンドの人たちをプチ観光などといった形で街中や御茶屋跡などと繋がれたらよい。

「うから館、新庁舎周辺について」

・図書館的な機能を持った施設が良いという意見は聞く。

・駐車場は広くあるが、看板が無いので自由に町外の方が使ってよいという看板をつけていいんじゃないか。また、合宿所として使えるようにできればよいのではとも思う。

・現状、大型バスはうから館に駐車して歩いて御茶屋跡までお客はきている。新庁舎との道の繋がりを真っ直ぐしてもらえればお客は流れてくる。

・歩いていて魅力のあるウォーカブルシティを作るべきで、この地区ではやっていくべきと思う。

・芝生広場では、ソフト面の仕掛け、足を向けてもらうための取組を重視するべき。Wi-fi整備は必須。チャレンジショップ的なものも入れながら、アーティストインレジエンスなどもいいのではないか。

(委員長)今年度は地域に広く聞いていくアンケートや、委員の皆様の地区の住民としての立場から様々ないい意見交換ができたことにより、地域の特徴が見えてきたということが今年度の成果か

と思います。今までの意見を踏まえて、こういうビジョンにしましょう、こういうことを考えていきましょうということを新年度から始めていこうということだと理解していますが事務局はそういったことでしょうか。

(事務局)そのとおりです。それではこれで閉会します。次回会議は4月下旬を予定しています。間が空いてしまいますがよろしくお願いします。

次回委員会予定

令和2年4月下旬予定（新型コロナウイルス感染症の余波により延期）

閉会

※会議録は公開することと「南関版コンパクトシティ構想策定委員会設置要綱」第7条の2で規定してあります。

第4回 南関版コンパクトシティ構想策定委員会次第

令和2年1月29日（水）

午前9時30分～

役場第1会議室

1 開会

2 委員長挨拶

3 議 題

1) 校区（地域）の現状・特徴について

2) その他

3 次回の日程について

日時： 年 月 日（ ） 時 分～ 時 分

4 閉 会

南関版コンパクトシティ構想策定委員

(任期：令和元年5月20日から町長への提言まで)

	氏名	住所（事業所所在地）	備考
1	かとう こうじ 加藤 浩司	大牟田市	
2	さいごう まさひろ 西郷 正浩	熊本市	
3	きたはら ひでき 北原 秀樹	南関町大字関町	
4	くろだ のりゆき 黒田 則行	南関町大字四ツ原	
5	きたはら こういちろう 北原 浩一郎	南関町大字関町	
6	たちやま ひろし 立山 比呂志	南関町大字豊永	
7	なかむら まさお 中村 正雄	南関町大字関町	
8	さるわたり みきお 猿渡 幹夫	南関町大字久重	
9	やました みき 山下 美紀	南関町大字豊永	
10	にしだ ゆみ 西田 由実	南関町大字上坂下	
事務局	おおき よしたか 大木 義隆	南関町副町長	
事務局	さかた ひろゆき 坂田 浩之	まちづくり課課長	
事務局	おおもり としかず 大森 敏和	まちづくり課企画振興係長	